

都 市 建 設 局

ま ち づ くり 事 業 部

市 街 地 整 備	277
駐 車 場 対 策	282

市 街 地 整 備

1 圏央道インターチェンジ周辺のまちづくり

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の整備に伴い、インターチェンジの開通やアクセス道路の整備による交通利便性が向上したインターチェンジ周辺地区においては、その立地特性を生かし、環境との共生に配慮した産業を中心とする「新たな都市づくりの拠点」や、市内外の産業需要を支える「新たな産業創出の拠点」の形成に向けて取り組んでいる。

(1) 当麻地区

圏央道相模原愛川インターチェンジ周辺の立地特性を生かし、産業を中心とした新たな都市づくりの拠点を形成する。

<主な動き>

- ・市街化区域編入(当麻宿地区)(平成24年度)
- ・相模原市当麻宿地区土地区画整理組合設立認可(平成24年度)
- ・谷原・市場地区土地区画整理組合設立準備会設立(平成25年度)
- ・市街化区域編入(当麻宿北地区)(平成26年度)
- ・当麻宿地区土地区画整理事業 保留地売却開始、一部進出企業操業開始(平成26年度)
- ・市場 地区計画検討委員会設立(平成27年度)
- ・当麻塩田原まちづくり検討会設立(平成27年度)
- ・谷原、市場及び塩田原地区における埋蔵文化財試掘調査の実施(平成27年度～28年度)

(2) 川尻大島界地区

圏央道相模原インターチェンジや津久井広域道路の交通利便性を生かした新たな産業拠点づくりを促進する。

<主な動き>

- ・相模原市川尻大島界土地区画整理組合設立認可(平成24年度)
- ・仮換地指定、本工事着手(平成25年度) ・本工事完了、進出企業による土地利用開始(平成26年度)
- ・換地処分、相模原市川尻大島界土地区画整理組合解散認可(平成27年度)

(3) 麻溝台・新磯野地区

産業・みどり・文化・生活等が融合した新たな都市づくりの拠点として、周辺への環境に配慮した都市基盤の整備を進めるとともに、新たな産業用地の創出や良質な住宅の供給に向けた土地利用に取り組んでいる。地区全体の早期事業化に向けて、先行して中央部を第一整備地区として事業推進に取り組んでいる。

<主な動き>

- ・第一整備地区の都市計画決定及び事業計画決定、土地区画整理審議会の設置、権利者の土地活用意向に係る個別面談を実施し、想定換地案を作成(平成26年度)
- ・第一整備地区の事業計画変更(第1回)、仮換地指定(第1回)、民間事業者包括委託の導入(平成27年度)
- ・第一整備地区の仮換地指定(第2回、第3回)、建築物等の移転補償、工事着手(平成28年度)

(4) 金原・串川地区

圏央道相模原インターチェンジの開通等による交通利便性の向上を契機とした津久井地域の新たな産業拠点の形成に向け、平成23年度に策定した「相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり基本構想」の実現

化に向けて事業手法等の検討を行っている。

<主な動き>

- ・まちづくり基本構想(金原・串川地区)の策定(平成23年度)
- ・専管組織の設置、実現化方策検討(平成26年度) ・まちづくり基本計画(金原地区)の策定(平成27年度)
- ・まちづくり推進計画(金原地区)の策定(平成29年5月)

2 良好な市街地の形成

魅力ある市街地の形成をめざし、橋本駅、相模原駅、相模大野駅の3駅周辺を中心市街地として、また淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵の5つの地区を中心的な役割を担う市街地として、道路の整備や公共施設の充実など、まちづくりを積極的に推進している。また、市街地形成の重要なファクターとなる商業の活性化として商業地形成事業の推進にも積極的に取り組んでいる。

(1) 橋本駅周辺整備事業

JR横浜線・相模線、京王相模原線、国道16号、国道129号及び津久井広域道路などの広域的な交通軸の結節点である地域特性を生かしながら、相模原駅周辺との連携のもと、「首都圏南西部における広域交流拠点」にふさわしい都市づくりを進めている。

<主な動き>

- ・橋本駅北口地区第一種市街地再開発事業〔ビブレ(現イオン)ほか〕(平成3年度～12年度)
- ・橋本駅北口C地区第一種市街地再開発事業〔ミウィ橋本〕(平成10年度～13年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目地区〕(平成4年度～8年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目東町地区〕(平成13年度～16年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目D地区〕(平成16年度～19年度)
- ・優良建築物等整備事業〔橋本6丁目24番街区〕(平成19年度～22年度)
- ・都市拠点総合整備事業〔土地区画整理事業〕(平成11年度～14年度)
- ・都市再生緊急整備地域「相模原橋本駅周辺地域」指定(平成15年度)
- ・都市再生緊急整備地域〔西-1、2地区〕基盤整備工事、住宅・商業施設建設工事(平成19年度～22年度)
- ・都市再生特別措置法に基づく民間都市再生事業計画の認定〔日本金属工業相模原事業所跡地開発事業〕(平成20年度～22年度)
- ・まちづくり協定の締結 橋本駅北口線沿道(平成3年度)
- ・地区計画の決定 橋本駅南口地区(平成2年度)、橋本6丁目地区(平成2年度)、橋本3丁目地区(平成9年度)、橋本都市拠点地区(平成8年度)、橋本大山町地区(平成18年度)
- ・都市計画道路橋本駅北口線(第2工区)道路改良事業(平成20年度～25年度)
- ・国道16号橋本駅南口入口交差点横断地下道整備(平成12年度～/国)

(2) 相模原駅周辺整備事業

相模原駅周辺では、駅前・西門・中央・市役所周辺を4つの拠点地区として位置付け、本市の中心市街地として商業・業務・行政・文化等各種都市機能の集積を図ると共に、魅力と風格と象徴性のある都心部を形成していくことをめざし、土地の高度利用や魅力ある景観形成などを促進することにより、各地区の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいる。

駅前地区では、平成7年度から10年度にかけて、南北自由通路を併設した橋上駅舎の整備や駅ビルの建設、南口・北口駅前広場の整備、自転車駐車場・自動車駐車場の整備などを実施・促進した。平成18年5月に、日米政府間で相模総合補給廠の一部返還基本合意を契機に、平成19年度には相模原駅周辺地区まちづくり構

想(さがみはら新都心整備構想)を策定し、平成20・21年度で学識経験者や公募市民からなる「相模原駅周辺地区まちづくり計画検討委員会」において検討を重ね、平成22年3月に「相模原駅周辺地区まちづくり計画」を策定した。

また、相模原・西門地区では「きらめきとときめきの都心“さがみはら”」を、中央地区では「リバティ・タウン中央」をテーマに相模原市の拠点にふさわしい中心商業地の形成を目指し、魅力あるまちづくりを進めている。

<主な動き>

- ・ 駅舎橋上化・南北自由通路整備(平成8年度)
- ・ 駅ビル建設、南口・北口駅前広場整備、ペDESTリアンデッキ整備(平成9年度)
- ・ 南口自転車・自動車駐車場開設、北口自転車駐車場整備(平成9年度)
- ・ 商業・業務ビル建設(平成10年度)
- ・ 優良建築物等整備事業〔相模原4丁目地区〕(平成7年度～9年度)
- ・ まちづくり協定の締結　さんはぜ通り沿道(平成3年度)、氷川通り沿道(平成4年度)、サラダ通り沿道(平成6年度)
- ・ 地区計画の決定　氷川通り地区(平成8年度)、リバティ大通り地区(平成8年度)
- ・ 相模原駅周辺地区まちづくり構想(さがみはら新都心整備構想)策定(平成19年度)
- ・ 相模原駅周辺地区まちづくり計画策定(平成21年度)

(3) 相模大野駅周辺整備事業

相模大野駅周辺地区では、「ふれあいと創造のまち 相模大野」をテーマに、市南部の玄関口に相応しい高度な都市機能を備えた個性と魅力にあふれた中心市街地を形成するため、土地区画整理事業、医療センター跡地整備事業や市街地再開発事業及び中心商業地形成事業を進めるなど、活力のある街づくりに取り組んでいる。

相模大野駅を中心とする約31.9haの区域では、交通の円滑化と宅地の利用増進、都市機能の改善、向上を図るため、市施行による土地区画整理事業を実施し、都市計画道路・駅前広場及び区画街路等の整備を進め、平成12年2月に換地処分が行われた。

また、医療センター跡地(19ha)整備事業は、昭和58年12月に跡地利用計画が決定され、ロビーシティ相模大野の中心区域として平成9年3月に整備を完了している。

さらに、都市型百貨店・複合文化施設や駅ビルという既存の核に加え、まちの広がりや回遊性の確保を狙いとした新たな核として、相模大野駅西側地区市街地再開発事業施設建築物(ボーン相模大野)が平成25年2月に竣工した。

<主な動き>

- ・ 相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業〔ボーン相模大野〕(平成13年度～24年度)
- ・ 優良建築物等整備事業〔相模大野駅前62街区地区〕(昭和63年度～平成4年度)
- ・ 相模大野駅周辺土地区画整理事業 換地処分公告(平成11年度)
- ・ 市営相模大野立体駐車場開設、主要道路のカラー舗装化(昭和63年度～平成5年度)
- ・ グリーンホール相模大野開設、コリドー完成、季節の橋完成、都市型百貨店開店、公団専門店街(女子大通り)開設(平成元年～2年度)
- ・ 相模大野駅ビルオープン 北口駅前広場完成(平成8年度)
- ・ 南保健福祉センターの完成(平成17年度)
- ・ まちづくり協定の締結　相模大野コリドー街(平成12年度)
- ・ 地区計画の決定　相模大野西側地区(平成13年度)

- ・サンデッキ相模大野(跨線橋)完成(平成2年度)
- ・サンデッキ相模大野(北口ペデストリアンデッキ)完成(平成6年度)
- ・県道町田厚木整備事業(平成3年度～)
- ・相模大野駅北口駅前広場エレベーター設置事業(平成20年度～28年度)
- ・県道町田厚木立体横断施設整備事業(平成25年度～)

3 その他の市街地整備事業

(1) 淵野辺地区整備

淵野辺地区は、古くから親しみのある商業地として発展してきたが、今後ともこれらの特徴を残し、新しい時代に対応した機能を付加し、若者たちが集う、にぎわいのあるまちづくりを推進するため、「銀河をかけるまち・ふちのべ」をテーマに具体的事業に取り組んでいる。

また、駅周辺地区については、文化教育施設の立地や地区内人口増加等による駅利用者の増大に対応するため、駅前広場・駅南北自由通路拡幅などの整備を行った。

<主な動き>

- ・まちづくり協定の締結 淵野辺地区南口街区(平成4年度) 白鳥座通り(平成5年度)
- ・北口駅前広場及び駅前広場自由通路(オーロラデッキ)の整備(平成13年度～14年度)
- ・駅南北自由通路拡幅整備(平成13年度～14年度)
- ・こと座・ヘルクス通り〔県道淵野辺駅停車場〕整備事業(平成10年度～14年度)
- ・ふちのべアクティブプロジェクトの設立、まちづくり推進連絡協議会の設立(平成12年度)
- ・コミュニティ施設活用商店街活性化事業(病後児保育施設)(平成15年度)

(2) 上溝地区整備

上溝地区は市内で最も古くから形成されてきた商店街であり、その歴史や人情等を生かしたまちづくりを進めるため、昭和63年度に策定した街区別整備計画に基づき「歴史とうるおいのある街・上溝」をテーマに各商店街区の特徴を生かしたまちづくりを進めている。

また、駅周辺地区については、駅中心核及び主要な交通結節点として位置付けられている駅前広場の整備を行った。

<主な動き>

- ・まちづくり協定の締結 上溝地区(平成5年度)
- ・上溝駅舎・駅前広場の整備(平成10年度～13年度)
- ・県道の電線類地中化工事 ①県道相模原大蔵町(平成13年度整備済み) ②県道相模原愛川(平成18年度整備済み) ③県道相模原茅ヶ崎(平成16年度～)

(3) 小田急相模原地区整備

小田急相模原駅周辺地区は、座間市域と一体となり、にぎわいのある商業地を形成している。周辺商業地の開発が進む中で、新しい時代に向けて個性と存在感のある商業地とするため、街区別整備計画が策定され、「躍動のバラエティタウン小田急相模原」をテーマに、各商店街区の特徴を生かした整備が進められてきている。

また本地区は、本市の地区中心商業地として、居住環境の向上や商業の活性化など、快適でにぎわいのあるまちづくりが求められている。このため、その拠点的な機能を担う駅北口地区では、商業、業務、住宅等複合的な機能を有する一体的な都市空間の形成と、駅前広場、都市計画道路などの都市基盤施設の整

備による交通結節機能の強化をめざし、北口A地区において市街地再開発組合による再開発事業が行われ、平成19年11月に施設建築物(ラクアル・オダサガ)が竣工したほか、隣接する北口B地区についても、市街地再開発組合による再開発事業によりA地区との一体的な整備が行われ、施設建築物(ペアナードオダサガ)が平成25年9月に竣工した。

<主な動き>

- ・小田急相模原駅北口A地区第一種市街地再開発事業〔ラクアル・オダサガ〕(平成13年度～19年度)
- ・北口駅前広場の整備(平成18年度～20年度) ・小田急相模原駅自動車駐車場開設(平成19年度)
- ・小田急相模原駅北口B地区第一種市街地再開発事業〔ペアナードオダサガ〕(平成19年度～25年度)
- ・県道町田厚木整備事業(平成16年度～) ・都市計画道路相模原二ツ塚線整備事業(平成7年度～)
- ・市道南台30号整備事業(平成23年度～25年度)
- ・地区計画の決定 相模台通り(平成2年度)、小田急相模原駅北口地区(平成13年度)
- ・まちづくり協定の締結 サウザンロード相模台(平成4年度)、アクト南口一番街(平成4年度)

(4) 東林間地区整備

東林間地区は周辺に大規模な商業地が位置している。そこで東林間らしさの創出を図り、魅力ある商業地とするため、昭和62年度に策定した街区別整備計画に基づき、「緑がかおる出会いのまち…東林間」をテーマに東口街区、西口街区の特色を生かした整備を進めている。

<主な動き>

- ・地区計画の決定 東林間駅前地区(昭和62年度)
- ・まちづくり協定の締結 東林間地区(平成2年度) ・東林間駅前タクシー乗り場整備(平成18年度)
- ・都市計画道路相模大野線(第3工区)道路改良事業(平成22年度～24年度)

(5) 古淵地区整備

既存商店街、大型店、ロードサイド店等の様々な商業機能を兼ね備えた市内有数の商業集積地であり、個性的で魅力ある商業地づくりを図るため、「いきいきスタートウン こぶち」をテーマに地区中心商業地として相応しい商業地の形成を目指し、ソフト事業を中心とした事業に取り組んでいる。

<主な動き>

- ・地区計画の決定 古淵駅周辺地区(平成2年度)
- ・国道16号電線共同溝工事(西大沼・大野台)(平成13年度～16年度/国)
- ・都市計画道路古淵麻溝台線道路改良事業(平成元年度～16年度)

4 安全で快適な歩行者空間創出事業奨励金交付制度

魅力あるまちづくり、商業地づくりをめざし、商業地形成事業の一環として、地区計画・まちづくり協定等で定められた地域の、建物の壁面後退の促進を図り、歩行者空間が確保された場合に奨励金を交付する(平成3年度から実施)。

平成26年度	1件	奨励金207千円
平成27年度	1件	奨励金734千円
平成28年度	1件	奨励金183千円

5 市街地整備基金

市街地開発事業の財源を計画的に確保し、都市計画決定された市街地再開発事業や土地区画整理事業などの促進を図るため、必要な資金を積み立てる(平成7年度から施行)。

【都市整備課…1～5】

【当麻地区拠点整備事務所、麻溝台・新磯野地区整備事務所…1】

【商業観光課(経済部)、都市計画課(まちづくり計画部)、道路計画課、道路整備課(道路部)…2～3】

駐 車 場 対 策

1 自転車・自動車駐車対策の推進

駅周辺地区における自転車の将来需要予測のもと、公共自転車駐車場の整備推進を行うとともに、適正な自転車利用を促すため、自転車利用者の啓発・指導を行うとともに放置自転車等の移動を行っている。また、駅周辺の路上駐車による交通渋滞の軽減を図るため設置した市営自動車駐車場の管理を行っている。

2 自転車対策の現況

駅周辺の歩道や駅前広場などに放置されている自転車・バイクは、歩行者や他の交通の妨げ、都市美観の阻害、更には防災・消防などの緊急活動の支障となっている。このような状況を踏まえ、駅周辺の交通環境の整備、自転車駐車秩序の確立を図るため、「自転車駐車場の整備」、「自転車利用者の社会的責任の自覚高揚」、「放置自転車等の指導、撤去の強化」を3本柱とした自転車対策を行っている。また、自転車駐車場の整備については、周囲の駐車場の需要予測のもと、民間自転車駐車場の整備を促進している。

(1) 自転車駐車場一覧表

市営有料自転車駐車場

(平成28年度実績)

	名 称	収容台数(台)			利用台数(台)		
		自転車	バイク	合計	自転車	バイク	合計
1	橋本駅北口第1	843	155	998	287,819	54,529	342,348
2	橋本駅北口第2	1,031	189	1,220	458,293	84,961	543,254
3	橋本駅南口第1	1,242	541	1,783	458,884	211,913	670,797
4	橋本駅南口第2	2,611	48	2,659	881,357	16,449	897,806
5	相模原駅北口	1,700	333	2,033	551,081	44,122	595,203
6	相模原駅南口	1,824	234	2,058	707,636	83,573	791,209
7	矢部駅北口	2,049	328	2,377	512,487	82,813	595,300
8	淵野辺駅南口第1	2,072	74	2,146	877,021	28,149	905,170
9	淵野辺駅南口第2	1,662	13	1,675	667,250	5,492	672,742
10	相模大野駅北口	4,194	330	4,524	1,345,195	91,870	1,437,065
11	相武台前駅北口	419	155	574	98,627	41,544	140,171
12	谷口北口	1,400	107	1,507	433,829	36,631	470,460
13	谷口南口	1,248	103	1,351	483,074	26,914	509,988
14	相模大野駅西側	2,880	70	2,950	1,113,727	31,639	1,145,366
	合 計	25,175	2,680	27,855	8,876,280	840,599	9,716,879

路上等自転車駐車場

(平成28年度実績)

	名 称	収容台数(台)			利用台数(台)		
		自転車	バイク	合計	無料分	有料分	合計
1	橋本駅北口	96	-	96	181,757	21,922	203,679
2	橋本駅南口第1	70	-	70	21,872	31,069	52,941
3	橋本駅南口第2	43	-	43	57,718	13,028	70,746
4	相模原駅南口第1	5	-	5	5,102	419	5,521
5	相模原駅南口第2	52	-	52	71,196	15,858	87,054
6	淵野辺駅南口第1	75	-	75	29,705	10,827	40,532
7	淵野辺駅南口第2	60	-	60	46,551	12,711	59,262
8	古淵駅	94	-	94	50,377	22,669	73,046
9	相模大野駅北口第1	58	-	58	94,646	15,224	109,870
10	相模大野駅北口第2	105	-	105	134,840	32,975	167,815
11	相模大野駅北口第3	128	-	128	169,328	31,852	201,180
12	相模大野駅南口	77	15	92	7,562	18,795	26,357
13	相模大野駅西側第1	53	10	63	149,557	12,826	162,383
14	相模大野駅西側第2	49	-	49	107,598	10,603	118,201
合 計		965	25	990	1,127,809	250,778	1,378,587

自転車駐車場合計

合 計	収容台数(台)			利用台数 (年間延べ台数)
	自転車	バイク	合計	
		26,140	2,705	28,845

(2) 放置防止に関する条例

平成元年12月1日に施行した「自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、駅周辺に放置された自転車等の撤去を実施している。

現在、市内14駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定している。

鉄道線別1日あたりの放置自転車等の状況

(各年5月調べ、単位：台)

年	横浜線 [6駅]	小田急線 [4駅]	相模線 [6駅]
H26	204(14)	148(3)	399(37)
H27	126(5)	108(4)	234(18)
H28	82(0)	105(5)	290(20)

※()内はバイク

※中央本線2駅は未調査

駅別自転車等移動台数

(H28.4~H29.3 単位：台)

駅 前	移 動 台 数		駅 前	移 動 台 数	
	自 転 車	バ イ ク		自 転 車	バ イ ク
橋 本	475	2	相 模 大 野	898	1
相 模 原	428	2	小 田 急 相 模 原	481	3
矢 部	200	2	相 武 台 前	42	1
淵 野 辺	493	5	東 林 間	113	1
古 淵	315	4	そ の 他	494	3
町 田	86	3	合 計	4,025	27

※相模湖駅、藤野駅は含まず

(3) 民間自転車駐車場助成制度

駅周辺における駐車需要に応えることを目的として民間自転車駐車場の整備等に助成を行っている。

ア 整備費助成

整備費助成 補助率1/2以内 (平成28年度 0件)

イ 維持管理費助成

補助率 駐車部分の土地及び建物に係る固定資産税及び都市計画税相当10/10 (平成28年度 17件
11,250千円)

3 市営自動車駐車場の管理運営

中心市街地や駅周辺地区における交通渋滞の原因となっている路上駐車解消を図るため、将来の駐車需要予測と民間との適正な分担のもとに整備した市営自動車駐車場の管理運営を行っている。

自動車駐車場一覧

市営自動車駐車場一覧表

名 称	収容台数(台)		構 造 形 式	供用年月日
	自動車	バイク		
相模大野立体駐車場	794	62	地下1階、地上5階、自走式駐車場、ただし、1階は交通施設広場(バス・タクシー乗降場)	S63.11.1
相模原駅自動車駐車場	236	47	地下1階、地上6階、自走式駐車場 ただし、地下1階から地上2階は自転車駐車場	H9.4.6
橋本駅北口第1自動車駐車場	747	—	地下2階、地上11階、自走式駐車場	H12.2.24
橋本駅北口第2自動車駐車場	401	54	地下1階、地上8階、自走式駐車場 ただし、地下1階は自転車駐車場	H13.9.1
小田急相模原駅自動車駐車場	136	—	地下3階、地下2階、自走式駐車場	H19.12.2
相模大野駅西側自動車駐車場	698	51	地下1階、地上11階、自走式駐車場 ただし、地下1階及び地上1階の一部は自転車駐車場	H25.3.11
合 計	3,012	214		

市営自動車駐車場利用状況

(平成28年度実績)

名 称	自動車利用台数(台)	バイク	
		一時利用台数(台)	定期利用台数(台)
相模大野立体駐車場	440,802	981	655
相模原駅自動車駐車場	125,416	1,171	485
橋本駅北口第1自動車駐車場	594,214	—	—
橋本駅北口第2自動車駐車場	490,316	422	555
小田急相模原駅自動車駐車場	118,888	—	—
相模大野駅西側自動車駐車場	642,588	1,687	470
合 計	2,412,224	4,261	2,165

4 駐車場整備地区

駐車場法の定めにより、駐車場の設置を促進すべき地区として指定。

地 区	指定面積(ha)	備 考
橋本地区	37.5	(指定年月日) 昭和62年3月31日 (変更) 平成3年2月28日 (変更) 平成6年9月7日
相模原・西門地区	139	
相模大野地区	30.5	
合 計	207	

5 駐車場法に基づく届出

駐車場法に定める一定規模以上の路外駐車場で、その利用について駐車料金を徴収するものを設置する者から、路外駐車場の位置、規模、構造設備などの内容に関する届出を受理している。

6 附置義務条例に基づく届出

駐車場整備地区内において、特定の用途に供する一定規模以上の建築物の新築、増築、改築などを行う者から、相模原市建築物における駐車施設の附置に関する条例に基づく届出を受理している。

7 相模湖ふれあいパーク

市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供するため設置。(平成9年4月設置)

(1) 施設概要

構 造	鉄筋コンクリート造2階建
施設内容	駐車場、駐輪場、事務室、公衆便所、公園

(2) 駐車場利用状況等

(平成28年度実績)

	自転車	バイク	自動車
収 容 台 数 (台)	16	26	21
一時利用延べ台数	—	—	13,526
定期利用延べ台数	99	207	84

8 藤野駅周辺駐車場

(1) 施設概要

名 称	収容台数(台)		供用年月日
	自動車	バイク・自転車	
藤野駅周辺第1駐車場	14	72	H13. 6. 20
藤野駅周辺第2駐車場	—	45	H 4. 2. 14
藤野駅周辺第3駐車場	—	42	H 7. 2. 27

(2) 駐車場利用状況等

(平成28年度実績)

	藤野駅周辺第1駐車場		藤野駅周辺第2駐車場		藤野駅周辺第3駐車場	
	自転車・バイク	自動車	自転車・バイク	自動車	自転車・バイク	自動車
一時利用延べ台数	4,923	6,888	—	—	—	—
定期利用台数	46	—	21	—	7	—

【都市整備課…1～6】

【津久井地域経済課…7】

【津久井土木事務所(藤野班)…8】

